

会員とセンターをつなぐ広報誌

生きがい王子

第115号 2022年 新年号

編集・発行



公益社団法人
八王子市シルバー人材センター

〒192-0062 八王子市大横町 11-35

TEL 042(626)1274

FAX 042(626)5159

✉ hachioji-sc@sjc.ne.jp

H.P. <https://hachioji-sjc.org>



八王子市シルバー人材センター

検索

謹賀新年

本号掲載ページ

- 2P 新年のご挨拶
- 3P 年頭のご挨拶
- 4P 常任委員会より
- 5P 常任委員会より
- 6P 職種班だより
- 7P 地域だより・会員だより
- 8P 会員だより
- 9P 事務局より
- 10P ボランティア活動に参加して
いちよう祭りに参加して
- 11P きさらぎ班だより
- 12P 次世代へ語り継ぎたい豆知識

あけましておめでとう ございます



新年のご挨拶

八王子市長・



八王子市シルバー人材センター名誉会長

石森 孝志 たかゆき

八王子市シルバー人材センター会員の皆様、あけましておめでとうございます。健やかな新年をお迎えになられたことを心よりお慶び申し上げます。旧年中は、市政に対し格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本市に暮らす高齢者がいきいきと活躍できる地域づくりには、貴センターの活動がますます重要となる中、昨年から女性会員の更なる獲得に向けて、女性向けの就業機会の創出にも注力いただいております。放課後子ども教室や家事援助だけでなく、表装といったこれまで男性が多く従事してきた業務でも、女性の活動が進んでおります。今後も更なる会員の獲得に向け、取組を続けてくださることを期待しております。

昨年十一月に実施した浅川清掃ボランティアでは職員を含めた約七十名が従事され、本市の美化に貢献していただきました。

八王子市シルバー人材センター会長



園部 正範

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

この一年半余りコロナ禍の下、十分な活動が出来ませんでした。今年度は契約金額も回復基調です。会員の皆様の頑張り感謝いたします。

今年度のノーベル物理学賞に米国籍日本人・気象学者の真鍋淑郎博士が選ばれました。90歳の現在も若い学生に囲まれ研究生活を送っています。博士は「何にでも好奇心を持つことが肝心だ」と言っています。私たち高齢者もいつまでも好奇心を持つ

会員の皆様からは、活動に従事したことを喜ぶ報告があったことをお聞きし、たいへん嬉しく思っております。活動に従事された皆様と、開催された貴センターに心から感謝の意を表します。

就労環境の改善につきましては、一昨年から引き続き、積極的に取り組んでいただき、昨年度も派遣事業の実績増加率で都内1位を獲得されました。貴センターのたゆまぬ努力の賜物であり、今後も就労環境の改善や就業機会拡大に取り組み、会員の活躍の機会創出を担っていただくようお願いいたします。

さて、本市の新型コロナウイルス感染症の六十五歳以上の方のワクチン接種率は約90%となり、併せて感染者数は減少しております。

皆様も以前のように、就労やボランティアといった社会参加活動に励んでいることと思われませんが、海外では、ワクチン接種率が比較的高いとされる国々での感染者増加や、新たな変異株の確認、また、国内においても行動規制の緩和やイベントの実施により、今後の感染者数が増加に転じるのではないかと懸念しております。引き続き感染拡大防止にご協力いただきながら、社会経済活動の回復に向けて、皆様のご活躍を大いに期待しております。

結びに、貴センターの益々の御発展と、会員の皆様の御健勝並びに御多幸を心から祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

て新しいことにチャレンジする勇氣を持ちたいものです。

シルバー人材センターでは、情報の即時性、資源の節約を旨指してSmile to Smileで(おおるり、就業情報、配分金表など)発信しています。またスマホを利用して(グループ会話&連絡、写真即時送信、テレビ電話)が気楽にできるようになりました。会員の皆様も是非チャレンジして下さい。また、スマホ活用の講習会も、今後パソコン班で計画しています。

現在、清掃、家事援助、除草など就業する会員不足で悩んでいます自分にとって合わないと思う就業でもやってみると案外面白いところが見つかるものです。是非トライしてみてください。

本年一年も会員の皆様にとって、健康で美りの多い年になりますよう祈念します。

年頭のご挨拶

常務理事 伊比 洋司


新年明けましておめでと
うございます。会員の皆様
におかれましてはつつがな
く新しい年をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。ま
た、日頃よりセンター運営
に多大なるお力添えをいた
だいていること、この場を
お借りして改めて御礼申し
上げます。

昨年・一昨年とセンター
運営はコロナ感染症の拡大
により、大きな影響を受け
ました。会員皆様にも、感
染拡大の波が来るたびに、
就業日や時間の変更など
様々な対応をお願いいたし
ましたが、おかげ様で状況
の変化に柔軟な対応を取る
ことができ、センターの業
務運営に対する信頼度を
格段に高めることができました。会員の皆様のご協力
に感謝申し上げます。

今年も、全国的なワクチ
ン対応も進み、ようやく明
るい出口の見える、期待で
きる一年となるのではない
でしょうか。

さて、本年は「第3次中

期5カ年計画」の最後の年
となります。残念ながら、
コロナの影響で、全ての目
標を達成することは極めて
難しい状況となっております
ましたが、東部交流室の開
設など、次のステップに向
け着実な取り組みができた
ものと考えております。
引き続き4月以降、次の中
期計画策定に向けた検討
を進めてまいります。社会
状況の変化の把握と共に、
会員皆様の声もできる限り
確認を行い、アフターコー
ナにもしっかりと対応して
いける計画づくりを進めて
行きたいと考えておりま
す。

水野前常務の後を受け、
新たな未来にトラ（)
イ、してまいりたいと考え
ております。皆様の引き続
きのご協力をよろ
しく願います。



女性活躍推進担当理事

西山 正子

二〇二二年明けましてお
めでとうございます。シル
バー人材センターの皆様、
今のところコロナもおとな
しくしておりますので元氣
な新年をお迎えしていっし
やる事と思います。

皆様も、早く活発に活
動したいと思っていっしや
ることでしょう。私、女性
担当理事としまして、な
かなか中途半端で「こと」を
決めかねていたりしていま
す。女性会員の求めている
ことが何か、もう少しさぐ
り、中の広い仕事を探して
いかなければならないと
思っております。そのため
に意義ある講演会を開き、
頭を全開していかなければ
なりません。まず既存の仕
事についての講演会、そし
て新しい分野の仕事を開拓
していく必要があると思い
ます。今いろいろ考慮中で
ありますのでその時は皆様
のご協力をお願いします。

きまぐれコラム

寅と虎

金色と黒色のしま模様
の毛皮を纏った王者のよう
な風格を持つ虎は、力強さ
や権力をイメージさせる猛
獣ですが、とても賢いこと
でも知られています。そこ
から『決断力と才知』の象
徴とされ、虎の絵や置き物
縁起物としても親しまれ
てきました。寅年の今年
は、一年の幸せと成功を祈
って虎グッズを求められる
方も多くいらっしゃるの
ではないでしょうか。

十二支は昔から、年月日
だけでなく、時刻や方角を
表す際にも使われてきまし
た。これは風水などによっ
て吉凶を占う身分の高い
人々の教養であったため、
庶民に広まる際に順番を覚
えやすいようにわかりやす
く動物を当てはめるよう
になりました。

しかし、動物は「虎」、干
支は「寅」と、違う漢字を
使うのはなぜでしょう。そ
ういえば、十二支の名前は
私たちが知っている動物（二
部、空想上の動物も入って
いますが）とは違う漢字を
使っています。鼠は「子（ね）
」は、牛は「丑（うし）」です。

しかも十二支とは、単
なる空間や時間の区切りの呼
び名を適当につけていた訳
ではありません。生命のサ
イクルを植物の様子をモデ
ルに表現したものであった
ことをご存知でしょうか。

その理由は、干支はそも
そも実際の動物とはまった
く関係がなかったことにあ
ります。

【子】とは種から生命が誕生
する状態（まず根が出ます）、
【丑】とは種から芽が出よう
とする状態、【亥】は植物が
種に生命を閉じ込めた状態
といった具合です。

今年の【寅】は「土から
芽を出した状態」です。長
引くコロナ禍の下、新たな
展望が芽吹く一年となるこ
とを願います。

常任委員会より

① 総務委員会

昨年はコロナ禍で活動出来ない状況だからこそシルバーの根本的な見直しを総務委員が知恵を出し合って検討をしました。(八王子市シルバー人材センターの存続のため)

① 財務状況の把握

②費用弁償では会計法上説明根拠がない役員報酬の見直し

③シルバーの課題を担当別に分担し推進を計る(会員研修・相談窓口開設・規定見直し)

④会員十名の知識向上に『知るセミナー』の企画

⑤シルバー5カ年計画の推進

これまで良かった点を生かしながら、課題の解決に向けて取り組んでいる総務委員会です。皆さまが八王子市シルバー人材センターの会員でよかったと実感出来るよう努力を続けています。ま

た会員に必要な情報は速やかに提供して行く所存です。

② 業務委員会

業務委員会は、6地区の理事及び7職種班から選出された委員7名及び事務局から2名とオプザーバーとして園部会長、伊比常務理事にも出席いただき今年度目標に掲げた、「お客様の満足度向上」、「後継者の育成」、「新規職種班の立ち上げ」等の目標達成に向けて毎月一回開催し、活動を進めております。

職種班は、配布班、植木班、除草班、表装班、筆耕班、刃物研ぎ班、パソコン班、の7班となっております。各職種ともに技能が要求されることもあり、後継者の育成は、共通な課題となっております。お客様の満足度向上への取組については、昨年実施出来なかった顧客訪問活動を就業対策委員会と協力し11月に実施することができました。

今年度も残り三ヶ月となり目標達成にむけての委員会を中心に会員皆様のご協力もおおきながら活動を進めてまいりたいと思います

会員の皆さん、ご自身が得意な職種、興味をお持ちの職種がありましたら、ぜひ職種班への入会を考えてみてください。未経験者の方も大歓迎です。

③ 地域委員会

地域委員会は地域班の班長・副班長を中心に会員の皆様へシルバーの情報をお伝えすること、次に会員の一人ひとりのご意見、ご要望をセンターに持ち帰り反映すること、そしてボランティアを通して地域社会に貢献しシルバーの活動を広めることを行っております。

これらの活動はシルバー全体と地域班を円滑に運用するための基礎になります。そして、地域委員会は会員ご自身の生きがいに繋がるよう活動意識及び業務内容の活性化を行い、地域社会貢献ができるよう取り組んでおります。

生きがいのための活動はご意見、ご要望を検討し、センター運営への提言をして行きます。また地区会議地区懇談会等の地域活動を通じて会員同士の交流を深め、培ったノウハウを共有し、会員個人の強みを生かした組織力、地域班の強化に結びつけてまいります。

地域社会貢献のための活動は各地区、シルバー全体でボランティア活動を推進し、積極的に社会

参加できるように取り組んでまいります。

④ 安全管理委員会

昨年は、コロナ禍の影響で活動が思うよう出来ない実態でした。令和4年度は、安全管理委員会として心機一転に、全員が健康で安全に就業できるよう、又働く意欲のある高齢者が、これからの人生「生きがいをもつて楽しく生きていく」とを念頭に、会員皆様の「賠償事故、物損事故、更」にその延長上の重篤事故」をなくすべく『安全第一』をモットーとして安全活動を進めてまいります。

令和4年度の目標として

①「安全管理体制の充実」として、委員会の活発な取り組みを行う為に、規程の変更を行い、現場の声を身近でキャッチし、事故の情報伝達を早める為に、各職種から会員を集め、隔々まで目が行き届くよう、委員会の組織変更を行うて強化を計る。

②「事故防止措置の定着」





を計る為に会員全員に安全就業を確保する為の全員参加による意識・認識の醸成や安全就業巡回指導を活用して事故防止の徹底を計る。

③「安全意識の普及啓発」を計る為に、広報誌等による啓発を活発に行うと共に新たに就業する会員に安全のしおり等を配布する。又「安全標語」等

の募集に積極的に参加してもらい、安全意識の喚起を、皆様と一緒に図りながら推進して参りますので、宜しくお願い致します。

〔5〕広報委員会

昨年は後半「コロナ禍の縮小が見え始め、中止になっていたボランティア活動が

再開され、また「いちよう祭り」も再開されてようやく広報委員会の活動の場が増え始めました。
 今年は更にイベント・ボランティア活動の場が増え、シルバー人材センターのPR活動に活気が戻ることを期待したいと思えます。
 目標として

①ホームページの内容の充実、アクセス方法の簡易化

〔6〕女性委員会

②毎月発行の「おおるり」の閲覧数の拡大
 ③年2回発行の「生きがい八王子」によるシルバーの活動の紹介、より多くの会員皆様の声を届けることに努力をしております。

まずは女性委員会として取り組んで行くことをスタート致しました「八王子フードバンクと子供食堂」のボランティアです。

昨年十月十三日(水)にフードバンク八王子の川久保理事をお招きし地域委員と女性委員会の委員合同でお話を聞く機会を持つことが出来ました。

フードバンク専用「えがおBOX」の設置期間・設置場所を、「おおるり12月号」に掲載致しましたところ、缶詰・米・レトルト食品・乾麺等、多数の寄付をいただくことができました。又、昨年に引き続き女性会員の増強、就業の開拓・拡大にも力を入れていきたいと思っております。

東部交流室の有効利用として女性向きの作業等、それぞれのスキルを生かし多方面で活躍出来る場として利用出来れば活性化につながるのではないのでしょうか。

「コロナ禍の為、自粛中止しておりました講習会や研修会も女性会員のスキルアップに繋がる為、開催できればと思っております。今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。



〔万全なコロナ対策をして会議をしています〕

職種班だより

除草班だより

湯川 敏雄 (7832)

除草班は現在八十名のメンバーで、年間約千八百件の作業をしています。圧倒的に多いのが一般の家庭からの除草依頼で、中でも高齢のため体が思うように動かせなくなつて申し込みを受けるケースが顕著です。受注作業ゆえクレーム皆無というわけにはいきませんが、草ぼうぼうの庭が一日で見違えるようにきれいになったのをみて感謝されるのが殆どで、お互いにくつも年が違わないことがわかり羨ましがれることも度々です。結構きつい作業ですが、お客様の感謝の言葉、ピアノアフターの達成感、そして健康保持、この三つが仕事のやりがいになっています。

まだまだ人手不足の状態ですので、興味のある方は是非事務局にお問い合わせ下さい。

広報配布班だより

町田 睦雄 (7171)

「コロナ！コロナ！コロナ！で令和3年も師走となつてしまいました。緊急事態宣言中でも広報配布は中止出来ません。配布員約570名にて全市27万世帯にお届けしていますが、配布員の年令は75〜80才が多数をしめてきており、シルバー若手（新入会員）の参加が必要不可欠と考えられます。又、各ブロック、各班ごとに配布員の緊急（病気、ケガ等）時に対処する為に緊急部隊を造つておりますが、その方々も年令を重ねて来ています。

若手会員の広報配布参加を再度お願いします。緊急部隊をシルバーの事務局、理事会に有ると！

結びに医療従事者の皆様に感謝を申し上げ感染防止対策を徹底し配布活動を続けてまいります。

新しい世界へ 筆耕班

鈴木 映子 (10268)

「この卒業証書は誰が書いたのだろう？」私がシルバー人材センター内の筆耕班の存在を知ることになったのはこの疑問からでした。それは

「私もこのような文字を筆で書いてみたい」という思いに変わり、恐る恐るセンターへの入会を決め、筆耕班の研修会にも参加する事へと広がっていったのです

研修会では、楷書体を基本にした文字を、たくさん先輩方が真剣に練習していました。教えてくださるのも筆耕班の中の先生で「こんな文字が書きたいなあ」と思ったものでした。

最初の高尾山の仕事は、シルバーとは思えない勤務設定でしたが、それはそれで楽しく、今まで知らなかった世界が高尾山にあることに驚きました。

そして卒業証書の時期。証書を前にすると、思うようにいかないこともたびたびでしたが、その緊張感は、新たな楽しみとなりました。今は、少し広い書道を勉強する研修会にも参加し、また一つ違う世界を知る楽しみを得たいと思つています。

表装班だより

町 明美 (10257)

「私も以前は自分で貼っていたのよ。でも年を取つて

くると大変になつて……」障子張替えで、お客様の所へ行くと、よく聞く言葉です。そんな時は、

「まかせて下さい。シルバーはお手頃価格で、棧（さん）もきれいに なつて部屋の空気がもきれいに なつたように感じますよ。」



刃物研ぎ



筆耕



除草



広報配布



植木



パソコン班



表装班

「部屋も明るくなりますし」と表装班に入つて6年目、木にもやさしくていいねい、がモットーです。安心して注文して頂きたいです。

地域だより

東部地域だより

佐野 たい子 (11540)

「東部交流室、ご存知ですか?」、由木事務所の斜め向かいにある黄色の建物の一室で月・水・金曜日にオープンし、会員の金丸さん、佐野とで皆さんがお越し頂いた時のお手伝いをさせて頂いております。入会希望でお越しいただいた方からのご質問等には、自分達の体験した仕事の内容や他の様々な仕事の内容を、ボランティア希望の方には楽しさ、素晴らしさを事務局とも連携を取り最新の情報をお伝えできるようにも努めております。東部交流室が皆様の情報の発信元としてまた東部交流室を活用いただけるように頑張りたいと思います。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

西部地区便り

二村 重和 (91000)

夕方近く、どこかのお寺の鐘がゴーンとなりました。ちよつとその時、カラ

スも鳴いていました。中村雨紅の夕焼け小焼けの里です。

ある小学校に行く道すがら、道端に小さなお地藏さんがあります。「子供の登下校時に優しく微笑み、見送ってくれます。」と、ある保護者の方がおっしゃっていました。

西部地区は鉄道の駅からは離れていて、買い物や通院等にはバスか車を利用する方が多い所です。中高層住宅は少なく、場所により坂道も多いです。市の広報を配布するにはかなり負担がかかる地域でもありません。配布員の方々にエールを送りたいと思います。



夕焼け碑

中部地区便り

浅原 ユリ子 (10508)

東部・北部の一部の合流で、5班だった中部地区が11班の大部分になり、2021年度から理事2名・地域委員3名での活動開始となりました。コロナ禍の為に会議も話し合うことも出来ず顔合わせも制限されてしまい閉塞感が漂うスタートでした。班長・副班長に活動してもらわないと地域は纏まりません。また、班長・副班長を引き受けて下さる方をさがしても中々見つからず、人選に苦労する日々が続いています。感染症防止でお互いに顔を合わせる事が出来なくても、身近な情報を発信しようという努力をしています。

会員だより

滝力原運動場での思い

日向 博 (9995)

滝力原運動場は野球場

10面・ソフトボール場4面・テニスコート8面・サッカー場1面と非常に広いです。仕事も多岐にわたります。窓口受付での接客、金銭の授受それによつての事務処理など神経を使います。夏

季節間中などは朝5時頃から利用者がたくさん来場します。天気の良い日などは使用するかしらないかなどいろいろな相談を受けます。利用者の側にたった気持ちで対応させていただいていきます。利用者の皆さんは礼儀正しく気持ち良いです。我々も皆さんが気持ちよくプレーしやすくなるように除草や整備等に汗を流します。ここでの仕事はキリがありません。でも四季の移ろいがあり、春は満開の桜、夏はタケノコ採り、秋は紅葉など見学者もたくさん来場します。滝山城の見学者も年中来られます。ここで働かせて頂いて本当に有難いと思っています。

私の趣味

渡辺 健次 (5996)

今から十五年前に狭心症を患い医者からそれ迄趣

味で行なっていたマラソンを禁止されました。それに代わる趣味として見つけたのが「ナンプレ」です。最初は「九までの数字を当てはめる簡単なパズル」と思っていたのですが、ヒントの数字の配置によつて非常に難解にもなり今ではすっかり虜になってしまいました。特にコロナ禍で不要・不急の外出を控え屋内で過ごした時には最適のパズルで巣ごもり生活も苦になりませんでした。しかも考えることにより頭脳を使う為ポケ防止にも役立つていると自負しています。皆様も騙されたと思つて解いて見てはいかがですか。

	4	6			2	7	
2			1		9		4
6				1			5
5		2	3		8		7
3			2	4			8
8			9		6		3
	9	7			8	1	

一歩ずつ前進

内藤 国暁(88歳)

このところ2年ばかり地域活動が低調で会員からの情報は途絶えがちである。

コロナ禍で訪問を控えるなか、電話による情報収集は話の糸口が掴みづらいのだろう。直接の対話なくして本音の情報は得にくい。大変だが足(訪問)で得るのが一番だ。

日頃から役員一同、対話を通し会員とのパイプ役になるよう心掛けている。

何事も初めの一歩は足が重い。大変だが半歩ずつでも進めて行きたい。

昨年は多くの就業機会が減る中で、シルバーパス更新業務の発注が無かったことを惜しむ声も多かった。コロナも終息に向かい多くの就業機会が得られ、活気ある新年になるよう努力し、また期待もしたい。他の地区活動を参考に情報の収集、発信、共有、そして改善へと繋げたい。活気ある活動が会員との共助に繋がればありがたいと思う。

SJCCの経験から

岩澤 孝嗣(69歳)

四十一年以上勤めた会社を退職しゆつくり旅行などを楽しむ生活をスタートしたが、社会とのつながりでは何かできることはないかとシルバー人材センター(SJCC)に加入した。

最初の就業はシルバーパス(SP)更新業務と、大学図書館管理業務。

SP更新は、メンバーと共同で多くの来客を接遇する、自分にとって未経験のサービス業務。

図書館管理は、施設や図書管理、入場者対応などで、静かで地味な業務。

その後の放課後子ども教室安全管理は、まさに子供



放課後子ども教室安全管理

の安全管理業務であるが、孫世代の子供たちに対応する楽しい一面もあった。

その他、広報配布などの就業や、班長・リーダー担当をしてきたが、いろいろな人と交わり楽しいこと、感心したことがたくさんあった。これは自分にとっていい経験であり素晴らしい財産になっていると思う。

これからも元氣よく就業を継続し更なる経験、新たな出会いを期待している。

仕事をについて思うこと

千葉 公博(108歳)

少し前の話になるが、総務省によると六十五歳以上の高齢者の推計人口が、総人口の三割に迫っていると発表された。

一方では、外出自粛の影響で、加齢とともに体や心の動き、社会的なつながりが低下した、いわば要介護の寸前にある状態「フレイルリスク」が高まっていると心配されている。厚労省は予防のポイントとして「栄養」「身体活動」「社会参加」の三点を挙げている。

シルバー人材センターから紹介された仕事こそ、私にとっては「生涯青春」の日々に通ずるものと捉えた。

シルバー人材センターから紹介された仕事こそ、私にとっては「生涯青春」の日々に通ずるものと捉えた。

会員になって思ったこと

幸村 さえ子(118歳)

私はシルバーの会員になって3年程になります。

今は自治会館の管理人の仕事をしていただいています。私の回りもシニアの方が

多いのですが、あまりシルバー人材センターのことを知りません。ましてどんな仕事を頼めるのかも知りません。先日私はパソコンのセットアップをお願いしましたが、会員でなければ、パソコン班があることを知りませんでした。すばらしい技術を持った方が沢山いらっしゃるのでシルバーで受注できる仕事をもっと広めてほしいと思います。



PC班

事務局より

事務局長 廣瀬和宏

あけましておめでとう
ございます

2021年度は、定時社員総会において役員改選が行われ、新理事が誕生し、総会後の臨時理事会において、会長には園部正範会員が副会長には馬場秀一会員が新たに選出されたほか、常務理事には、八王子コンベンション協会前専務理事の伊比洋司特別会員が選任されました。新理事体制より2022年度に向け新型コロナウイルス感染症収束後の新たな取り組みが期待できます。

また、事務局内部の人事関係ですが、36年間当センターのためにご尽力された山下正主任が2022年3月に定年退職されますが5年以上勤務の嘱託職員を対象とした正規職員登用試験に合格した鈴木さん、大石さん、飯村さん、福田さんが2022年4月

からは正規職員の立場でこれまでの経験を活かして、気持ちも新たに頑張っていたと思います。

2020年4月から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行動制限をお願いし続けてまいりましたが、会員皆様の自粛行動が実を結び、漸く、10月18日から少しずつ行動制限も緩和され、11月7日には中部・北部地区の会員が中心に浅川河川敷清掃ボランティア活動が実施され、事務局職員も一緒に参加させていただきました。11月20日・21日には昨年中止となった「いちよさ祭り」にも参加でき、徐々に新型コロナウイルス感染症拡大前の元気なシルバークラブの笑顔が見え、少し安堵いたしました。コロナ禍において就業ができない時期もありましたが、一方では、消毒業務など社会変化に対応した新たな仕事もありました。公共事業、民間事業に加え一般のご家庭からのお仕事の依頼も戻っ

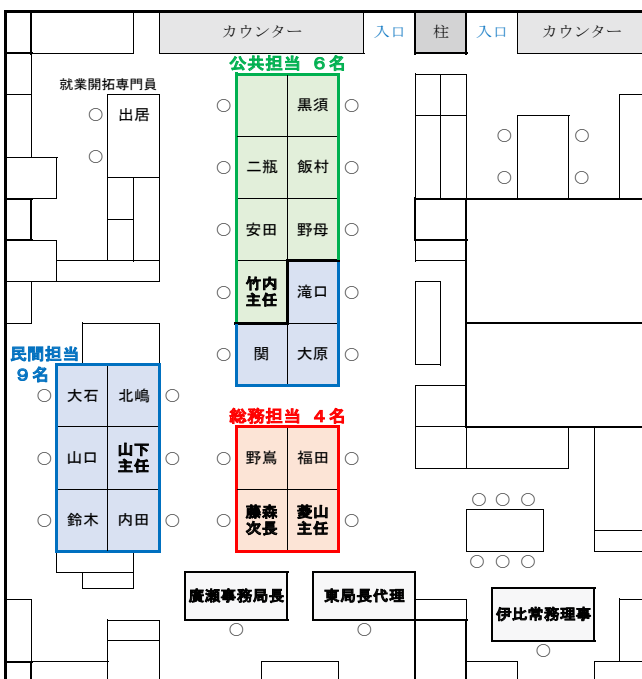
てきたように思います。事業実績全体を見ると、請負事業から派遣事業に切り替えることが適正就業を進める上では必要であった市立小中学校学校施設管理業務は多くの会員が請負から派遣への切り替え就業となったため大幅に派遣事業実績が上がりました。令和3年11月1日現在、派遣実績は都内第1位となっております。平成28年度から始めた派遣事業については年々増加傾向にあり、今年度の事業実績は2億5千万円を超える見込みですが、請負事業についての事業実績は新型コロナウイルス感染症拡大前の1昨年程度までもう一歩のところではあります。2021年度の入会説明会は中止することなく、また、東部交流室での開催も含めて新入会員確保に努力いたしました。その結果会員数は令和3年11月1日現在2709名（男性2048名女性661名）、で令和2年度末の2531名から17

8名増加しており、今後は様々なイベントでのPR活動や未就業者を減らす就業相談ができる体制づくりなど総務・広報・就業対策委員会との協議を通じて更なる会員増強を進めて参ります。

第三次中期5カ年計画の最終年度となる2022年度は、その総括と第四次中期5カ年計画策定に向けた準備となる大事な年となるでしょう。また、2023年10月から消費税法の改正により

実施されるインボイス制度はシルバークラブにとって大きな転機になることが予測されます。令和4年は、先に見える目標を見据えた準備ができる年となるようにシルバークラブ事務局職員一同気持ちを一つに頑張っていく所存です。そして、会員の皆様が、元気に楽しく活動が戻ってくることを祈念して事務局からの報告とさせていただきます。

令和4年1月～ 座席表



ボランティア活動に参加して

2回の浅川清掃

ボランティアを終えて

事務局 山口 佳祐

昨年11月初旬に浅川清掃ボランティアに地域委員会担当として参加いたしました。当日は明け方に雨が降るも集合時間には晴れ間が差し、絶好のボランティア日和となり、参加者の皆様と楽しい時間を過ごすことができました。

当日で参加いただいた会員の皆様、ありがとうございました。

コロナ禍での油断は禁物！と思いますが、感染対策に気をくばりながらいかに楽しく過ごしていくかを考え実行していくことも大事ではないでしょうか。

一刻も早く会員の皆様とコロナ禍以上に楽しい時間をすごせることを祈りな



がら、事務局職員として勉強を重ね成長することを目指します。

浅川清掃ボランティア

に参加して

谷津 富高 (10553)

今回は、十一月の第二日曜日9時半集合、2時間程のコースでした。範囲は鶴巻橋・萩原橋・浅川橋の兩岸、4ヶ所です。それぞれ15名ほどの配置での清掃スタートです。

曇り雨の予報でしたが、一転快晴となり、今秋一番の、天高く馬肥ゆる秋の日和となりました。

参加者の皆様の日頃の行いの賜物でしょうか？

遊歩道を行き交う人達よりの、ありがとごの声かけ、近隣住民よりのご苦

労様ですの言葉、同行会員との語らひは、日頃の黙々の散歩とは、一味も二味も異なるウォーキングでした。

環境のクリーニングは、心のリフレッシュに繋がっています。

清々しい余韻を楽しんだ、ボランティア初級コースのひと時でした。



浅川清掃

いちよう祭りに参加して

森 光江 (8108)

昨年のいちよう祭りは十月二十日(土)〜二十一日(日)に行われました。規模は縮小されました

が、天気も良くイチヨウも黄色く色づいて美しく、たくさんの方が歩いておられました。

コロナの影響でシルバー人材センターもずっと活動



いちよう祭り

出来ず、2年ぶりの参加となりましたが、子供向けには風船やシールを配り、大人向けにはチラシ・エコタワシ・ボールペン等を配って広報活動をし、大盛況のうちに関わりました。

可愛いお子さんがエコタワシにシールを貼ってくれたりとお手伝いをしてくれて、大人だけの中がとてもなごやかに、楽しく過ごせました。

きさらぎ秋の散策へ

山田 多栄子(6479)

十月八日に小金井公園にある「江戸東京たてもの園」へ行ってきました。緊急事態宣言の緩和の指示が出たこともあり、久しぶりの外出でした。

園内では江戸から昭和初期に建てられた、歴史的・文化的の価値のある建物が、移築再現されていて、又、商家の店先なども当時の様子を想像することが出来て、見ごたえの有る野外博物館です。

要所々々に指導員が立ち、きれいに整備されている園内は三密を守つての見学でした。「高橋是清邸」や「八王子千人同心の家」などが興味をそそりました。

初秋とは言えまだ日差しも強く、日陰を求めて持参のお弁当を広げ、二十名の参加者で親睦をはかり、楽しく一日を過ごす事が出来ました。



八王子・千人同心の家



小金井公園

《江戸東京たてもの園》

江戸の昔から火災・戦災などにより、多くの貴重な歴史的建造物が失われてきました。現在もまた、社会変動に伴つてこうした文化遺産が失われつつあります。

東京都は、1993年(令和5年)「江戸東京たてもの園」を開設、現地保存が不可能な文化的価値の高い歴史的建造物を移築、復元・保存し貴重な文化遺産として次世代に継承することを目指して展示しています。



▶高橋是清邸
江戸東京たてもの園

「高尾山を登る会」

に参加して

大久保文一(3658)

好きすぎ大好き高尾山。一人より皆で登れば尚楽し。と言いつ訳で約2年ぶりに第26回目の「高尾山を登る会」に参加し、皆様と一緒に楽しんで来ました。

天気良し、空気は旨し、霊気満山、もう散つたと思われた紅葉もまだ程よく残り目を楽しませてくれました。「猿園」の前では仲間が来たと思つたのか鳴き声が聞こえた気がしました(ほんとかなく)「引張りダ」の頭をナゼナゼし元気が更に出ました。

我が登山会会長の西山正子さんの「177人目の「健康登山達成札」が山門の少し手前で励ましてくれました。(2100回登った訳です)9年を要したそうです。

薬王院の急階段を避け、左の緩やかな坂道を進みました。頂上では恒例の「ビンゴ」を楽しみ、下山。有志で打上会もや

りました。早く来い来い次回の登山、指折り数えて待っています。



高尾山

次の世代へ語り継ぎたい豆知識

《あんなこと・こんなこと》
一年・十二ヶ月の和名

一月	睦月 (むつき)	・ 親しい者が集まり睦み合う事から
二月	如月 (きさらぎ)	・ 寒さの為衣を重ね着することから
三月	弥生 (やよい)	・ 草木が弥 (いよいよ) 生い茂る事
四月	卯月 (うづき)	・ 卯の花の咲く月
五月	皀月 (さつき)	・ 皀 (つづじ) の咲く季節
六月	水無月 (みなづき)	・ 田に水を入れる (水月) から
七月	文月 (ふみつき)	・ 七夕行事と関連「万葉集」でもフミツキ
八月	葉月 (はづき)	・ 木の葉が色付いて落ちる月
九月	長月 (ながつき)	・ 夜が長くなる月・夜長月より
十月	神無月 (かんなづき)	・ 神々が出雲大社に集まり国を留守にするから
十一月	霜月 (しもつき)	・ 霜が降りる・霜降月・の略
十二月	師走 (しわす)	・ 師匠も忙しく仕事を収める事が由来

《長寿祝い・お祝いの名前と年齢》

還暦 (かんれき)・・・六十歳
・元の暦に戻る・生まれた干支に戻るという意味から

古希 (こき)・・・七十歳
中国・詩人杜甫の「人生七十古来稀なり」の一節から

喜寿 (きじゅ)・・・七十七歳
「喜」の草書体・七を三つ重ねた形・が七十七と読める事から

傘寿 (さんじゅ)・・・八十八歳
傘の略字が八と十を重ねた形で八十と読める事から

米寿 (べいじゅ)・・・八十八歳
「米」の字を分解すると八十八と読める事から

卒寿 (そつじゅ)・・・九十歳
「卒」の略字が九十と読めるから

白寿 (はくじゅ)・・・九十九歳
(百から一を引くと「白」となることから)

***100歳を超えた長寿祝い紀寿** (きじゅ)・百寿 (ひゃくじゅ)・・・100歳

茶寿 (ちやじゅ)・・・108歳
皇寿 (こうじゅ)・・・111歳
大還暦 (だいかんれき)・・・120歳

*文字の色はお祝いのラッキーカラー

事務局より

2022年が始まりました。事務局職員一同、今年も変わらず会員の皆様をサポートし、より多くの方に活動の機会を持って頂けるよう邁進いたします。

今年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

編集後記

昨年後半、コロナ禍の縮小が見え、いくつかのボランティア・イベントが行われ参加者からコメントを頂きました。本年はより多くのボランティア・イベントが行われることを願いたいと思います。



絵手紙



《七草粥を作りましたよ》
*春の七草です



《八王子八福神》
*八王子は七福神に「吉祥天」を加え「八福神」です